

令和8年2月3日

## 関係各位

熊本大学大学院教育学研究科長

藤田 豊

[公印省略]

### 教員の公募について（依頼）

謹啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、熊本大学では下記の要領により教員の公募をすることとなりました。

つきましては、関係者への周知について、よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。

今回の公募に関する本学教育学部附属学校国際クラスについての概要は、ホームページ  
(<https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/kokusai/>) で紹介しておりますので御覧ください。

謹白

記

- 1 職名及び人員 教諭職 若干名（英語科）（所属は大学院教育学研究科：特定事業教員）
- 2 勤務校 教育学部附属中学校
- 3 担当教科等 中学校英語科（附属中学校では、イマージョン教育実施のため、国語、社会及び道徳については日本語にて授業を行うが、それ以外の教科等は英語で授業等を行う。）  
※教育活動に当たっては、ネイティブの担当と2人体制での指導を原則とする。なお、イマージョン教育実施教科等については変更もありうる。  
※中学校国際クラスの学級担任等として教育活動に当たる。また、教育学部附属中学校において学校全体に係る校務分掌や教育実習指導等も担当する。  
※研究活動に当たっては、教育に関する研究会や研究発表会（附属学校内のものを含む）において、公開授業や国際クラスでの実践成果の発表等を行う。  
※他教科等の担当教員、附属中学校の一般クラス及び附属小学校との連絡調整等を主体的に行い、附属中学校のイマージョン教育の中心的立場となることが期待される。
- 4 採用予定期限 令和8年9月1日以降なるべく早い時期  
(※遅くとも令和9年4月1日までを想定。相談に応じます。)

## 5 応募条件

- (1) 英語科の中学校教諭免許状を有すること（小学校教諭免許状も有することが望ましい。）
- (2) 小中学校の教諭として原則15年以上の教職経験があること（中学校において複数学年の学級担任の教職経験があることが望ましい。）
- (3) イマージョン教育に関心があり、教育実践及び教育研究の遂行に意欲があること
- (4) 学級経営、学習指導、生徒指導、校務分掌、学校行事の企画運営、一般クラスとの連携、保護者対応等に積極的に取り組めること
- (5) 外国籍を含む全ての生徒に対する教育的愛情をもつとともに、教育実習、教育研究の遂行に意欲があり、附属学校の使命を理解していること
- (6) 組織の一員として主体的に、協働しながら学校運営へ参画できること
- (7) CEFR B2レベル相当以上の英語力を有すること（CEFR C1レベル以上相当の英語力を有することが望ましい。）
- (8) 学校全体を取りまとめる役割の経験を有することが望ましい。

## 6 労働条件等

- (1) 職務内容 (雇入れ直後) 教育学部附属中学校における教育実践・研究業務（特に国際クラスにおけるもの）及びそれに附帯する業務に従事する  
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- (2) 勤務場所 (雇入れ直後) 熊本大学教育学部附属中学校  
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (3) 勤務形態 一年単位の変形労働制
- (4) 任期の定め あり 令和9年3月31日まで  
(ただし、業務の都合および勤務成績等を勘案し、契約期間の更新を行う場合があります。その場合、年度ごとの契約になり、原則、更新は当初の採用日より最長5年までとなります。)
- (5) 雇用上限年齢 65歳
- (6) 試用期間 6か月
- (7) 時間外労働 時間外、深夜、休日労働の有無：有
- (8) 休日・休暇 国立大学法人熊本大学職員の勤務時間、休暇等に関する規則に定めるところによる
- (9) 賃金等 国立大学法人熊本大学職員給与規則に準じて決定する  
※年額収入(教員等としての実務経験が30年程度の場合)：750万円程度
- (10) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (11) 雇用者 国立大学法人熊本大学

## 7 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付、別添同封の本研究科所定の様式による）1通  
※産前産後の休暇又は育児若しくは介護のための休業（以下「育児等」という。）を取得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては、当該期間に相当する期間を教育歴（勤務年数）に含めます。
- (2) 教員免許状の写し 1部

- (3) 英語力を証明する資格試験等の証明書の写し 1部
- (4) 以下のテーマについて、それぞれA4判1枚(2,000字程度)にまとめたもの
  - ① これまでの担当授業(年度・学年・科目・単位数)及び校務分掌一覧  
(1枚に収まらない場合は、直近年度を含む過去5~10年程度についてのみ記載)
  - ② これまでの教育実践・研究の概要
  - ③ 本職、本校への志望動機と抱負

※上記の他、応募者の連絡先(電話番号、メールアドレス等)を記した書類

8 応募締切日 令和8年4月30日(木)(必着)

9 選考方法 一次選考:書類による選考

二次選考:一次選考合格者を対象に面接及び模擬授業等による選考

10 応募書類送付先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号  
熊本大学教育学研究科長 藤田 豊 宛  
(注) 応募書類の封筒には「附属中学校国際クラス教員(特定) 応募書類」と朱書きの上、書留又は簡易書留郵便で送付すること。

11 照会先

【職務内容について】 熊本大学 国際クラス設置準備室  
TEL(FAX):096-356-2492 (096-356-2499)  
電子メール:[kyo-kokusai@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:kyo-kokusai@jimu.kumamoto-u.ac.jp)  
【応募について】 熊本大学 教育研究支援部人社・教育系事務課  
TEL(FAX):096-342-2513 (096-342-2510)  
電子メール:[kyo-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:kyo-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

12 その他

- (1) 選考過程で面接を実施する場合は、旅費等必要経費は応募者負担とします。
- (2) 提出書類は返却しません。希望があれば、着払いにて返却します。
- (3) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。選考に当たっては、男女共同参画社会基本法に則り、適正に行います。  
(熊本大学ダイバーシティ推進室ホームページ <https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/>)
- (4) 選考に当たっては、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- (5) 現職が公立学校教員等である者にあっては、公立学校教員等の在職期間を本学の在職期間として通算しませんので、現機関で退職金を受け取った後、本学で採用することとなります。  
なお、現職が公立学校教員等である者のうち、熊本県及び熊本市の教員等であるものにあっては、熊本県及び熊本市と熊本大学の協定により教員の交流が行われていることから、原則として本公募の対象とはなりません。